

平成26年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立西和佐小学校

校長名 栗本 昌彦

作成日 平成26年4月24日

学校教育目標

強いからだと明るい心をもつ子どもの育成

豊かな心で自然や地域等の人々とのふれあいを深める子どもを育てる。

人権を尊重し、主体的に行動する子どもを育て、体験を通して豊かな心を育てる。

自ら考え、意欲的に学ぶ子どもの育成とともに、健康な子どもを育てる。

| | 開かれた学校 | ゆたかな心 | 確かな学力 |
|---------------|---|--|--|
| 本年度の重点目標 | <p>(1) 授業参観や啓発活動を通して保護者や地域の方々の教育に対する意識を高める。</p> <p>(2) 教職員の資質向上を図るとともに、その取り組みを広く伝える。</p> <p>(3) 子どもの様子を積極的に保護者や地域の方々に知らせる。</p> | <p>(1) 人権・同和教育を推進するとともに、人権意識の高揚に努める。</p> <p>(2) 地域や関係諸機関、育友会と連携しながら、豊かな体験活動を推進するとともに道徳教育を充実させる。</p> <p>(3) 教職員と子ども、子どもどうし、教職員と保護者のよりよい人間関係を通して、お互いの信頼関係を深める。</p> | <p>(1) 基礎学力の向上を図る。</p> <p>(2) コミュニケーション能力の向上を通して生き生きと主体的に取り組む子どもを育成する。</p> <p>(3) 学力の定着を図り、教員の指導力を向上させるために、外部から指導や助言を求める。また、学力定着等に効果的な教材を活用する。</p> |
| 目標達成に向けた具体的方策 | <p>(1) 授業参観や学級懇談・地区懇談会等を通して子どもの活動状況を広く伝えることを通して、保護者の教育に対する意識を高める。</p> <p>(2) 学校通信「西和佐っ子だより」や学級通信、学年だより等で、本校の子ども様子を積極的に地域や保護者に知らせる。</p> <p>(3) 学校開放週間等を活用し、教育関係者の学校訪問を促し、教職員の資質の向上を図るだけでなく、その取り組みを保護者や地域の方々に広く伝える。</p> <p>(4) 学校評議員や学校関係者評価委員と連携を密にしてよりよい学校経営に努める。</p> | <p>(1) 家庭や地域と連携しながら、講演会等も含めて、子ども一人ひとりの心に響く人権感覚の高揚に努める。</p> <p>(2) 児童の心に響く豊かな体験活動を行うとともに、「私たちの道徳」を活用する等道徳の時間を充実させて、子どもの感性を高める。</p> <p>(3) 学校の教育活動全体を通じて教職員と子ども、子どもどうしの心の交流を図り、お互いの信頼関係を深める。教職員は保護者と育友会活動や日々の連絡を通して、子どものよさを共有しながら心豊かな子どもを育成する。</p> | <p>(1) 読書タイムや基礎タイムの中に、読書・漢字練習・計算練習などを入れ、基礎学力を高める。</p> <p>(2) 国語科で身に付ける話す力・聞く力・話し合う力・書く力と、総合的な学習の時間等で身に付けるコミュニケーション・スキルの系統的な指導を通して、確かな学力の定着に努める。</p> <p>(3) 「平成26年度学力向上推進校事業」に応募するとともに、市教員委員会客員指導主事の継続的な指導訪問を依頼し、研究授業を通して教員の指導力向上をめざす。また、県が作成した『ことばの力』向上のための参考資料集』の効果的な活用のしかたを探る。</p> |